

青空



令和5年度
No.13
3月号

未来を創る時期

校長 坂瀬 一哉

寒い日が続きますが、校庭の木々の枝には、やがて来る春を心待ちにしているように蕾が膨らみはじめています。寒さの中にも確実に春への準備が着々と進んでいるのを感じます。

その二つ子は、登校後すぐに教室から運動場へ向かいドッジボールやサッカーに夢中になって体を動かしています。大谷翔平選手からいただいたグローブを使って楽しそうにキャッチボールをしている様子も見られます。教室では、朝のスピーチの準備をする子や先生と楽しそうにおしゃべりをする子、学習の準備や復習などしている子がいます。各学年では、年度末をむかえ、学習と生活のまとめの取組を進めているところです。

学校中から大きな感謝の気持ちを伝えた「六年生を送る会」を終えた六年生は、いよいよ卒業式を迎えます。一日一日を名残惜しうに過ごし、日々、心を込めた取組の様子があがえられます。「最高・最強」の六年生としてこの一年間、みんなのために力を尽くしてきました。登下校、集会、清掃活動、音楽会や運動会等の行事、様々な場面で全校のみんなをリードしてくれました。六年生のおかげで園部第二小学校は思いやりがあふれ、何事にも精一杯チャレンジすることのできる学校になってきています。六年生が創りあげた伝統を下級生がしっかりと引き継いでいくことを期待するとともに、更に素晴らしい学校生活を創りあげていくことのできるよう願っています。

地域の皆様、保護者の皆様にもお力添えを賜り、地域全体で共有する目指す児童像「あいさつなど温かい言葉を交わせる子」の育成を目指し、道徳、さつまいも植えや収穫、昔の遊び、なわとび、まち探検、九九、南丹市の自慢、花づくり、大西井堰、米づくり、ミシン学習、キャリア教育等、紙面に載せきれないほどの学習について打ち合わせから準備まで学校運営協議会を軸に一緒に創りあげてきていただきました。これらが、園部第二小学校の教育の骨格の一つとなり、地域でその二つ子を育てていただいています。

地域の皆様、保護者の皆様には、この三月が来たるべき春に向けた充実した準備の期間となり、その二つ子の未来を創るための有意義な時となりますよう、さらなるご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。



PTAより寄贈していただきました

PTAより、学校美化作業やプール掃除等で使用する「高圧洗浄機」や、日々の清掃活動で使用する「ほうき、ちりとり」、降雪時に通学路等を除雪する「スノープッシャー」を寄贈していただきました。会員の皆様、ありがとうございます。大切に使用させていただきます。



書き損じはがきについて

1月9日(火)～26日(金)までの間、書き損じはがきの回収を行いましたところ、112枚(6,164円分)のはがきを回収しました。書き損じはがきの回収にご協力いただき、ありがとうございました。

6年生を送る会「さあ行こう！最高の未来へ」

2月22日(木)に、6年生を送る会を行いました。6年生を送る会は、6年生に感謝の気持ちを伝える会として、来年度リーダーになる5年生が中心となって準備を行いました。当日は、各学年の子どもたちが発表を通して、お世話になったことへの感謝の気持ちを伝え、また、4月から始まる中学校生活へのエールを送ることができました。今年度も、各学年とも様々な工夫を凝らした発表となり、温かい雰囲気にも包まれた素晴らしい会となりました。



令和5年度 園部第二小学校「学校経営計画(スクールのマネジメントプラン)」について

令和5年度の本校の教育活動・学校運営につきまして、保護者の皆様にご協力いただきましたアンケート（「学校だより2月号」に掲載）や、児童、教職員のアンケート、学校運営協議会等での意見により評価を行いましたのでお知らせします（3/1時点）。今後も引き続き、地域の皆様や保護者の皆様との連携・協働による学校づくりを進めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

学校教育目標	学校の現状分析	学校経営方針(中期経営目標)	
<p>【園部中学校ブロック】ふるさとを愛し、夢をかなえるために、知力・心力・体力の向上を目指すそのべっ子の育成</p> <p>【園部第二小学校】 「やさしく かしく たくましく」 ～豊かな人間性と確かな学力を持ち、心身ともにたくましい児童の育成～</p> <p>＜めざす学校像＞ 「一人一人が輝き、ともに学び、育ち合う学校」</p> <p>＜めざす児童像＞ ◇思いやりのある子 ◇目標に向かって努力する子 ◇心身ともにたくましい子</p> <p>＜めざす教職員像＞ ○児童一人一人への深い理解 ○豊かな人間性と高い授業力 ○学び続ける力と創造力 ○組織的な協働体制</p>	<p>＜児童の実態＞ ◇良い点◇ ・全体的に明るく、元気に活動できる。 ・学習や様々な活動に積極的に取り組むことができる。 ・課題や自分の役割に対して、真面目に取り組むことができる。</p> <p>◇さらに伸ばしたい点◇ ・自己肯定感や自己有用感 ・主体的に学びに向き合う力と他者や自己との対話的な学びの力 ・主体的に将来を切り拓き、たくましく生きる力</p> <p>[学校・地域の協働体制] ・熟議を深め、学校運営協議会を軸として、児童の育ちを支えるための協働体制の充実と取組の見える化を推進する。</p>	<p>◇人権尊重を基盤として◇ ○豊かな人間性の育成 ○確かな学力の育成 ○たくましい体づくり ○地域とともにあゆむ学校づくり</p> <p>知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図り、予測困難な時代をたくましく、しなやかに生きぬく力を身に付けさせる。</p> <p>(1)一人一人の人権を大切に自己肯定感を高める学級経営の推進と、自他を尊重する態度や実践力の育成 (2)個々のよさや可能性を最大限引き出し、「主体的・対話的で深い学び」をうみ出す学習活動の推進 (3)災害・防災・健康安全等についての理解を深める取組の推進と、自ら考え、進んで行動できる実践力の育成 (4)地域とともにあゆむ学校づくりを進め、学校・家庭・地域が創意工夫して取り組む地域学校協働活動の推進と「地域道徳」の推進</p>	
学校経営の重点(短期経営目標)	成果	課題	改善策等
1 一人一人の人権を大切に自己肯定感を高める学級経営と、自他を尊重する態度や実践力の育成 (児童アンケート「①自分によいところがあると思う」と答える児童85%以上、「②友達を大切にしている」と答える児童90%以上)	人権教育を基盤とし、友だち等を自分と同様に大切に考えるよう促す日々の学級経営や各教科、特別活動の学習において人権の視点をもって取り組んできたこと等によって自他を尊重する態度が育ちつつある。 【児童】①76% ②98%	B 自分自身のことを肯定的に捉える感覚等の非認知能力を今後育てていくことが重要であると考えている。体験的な活動を更に取り入れ、自己肯定感を高める取組の充実を図る。	今年度、地域学校協働活動を推進し、地域総がかりの豊かな体験活動を創造してきたところである。この取組を更に進めることで自己肯定感等の非認知能力の育成を図る。
2 日々の児童理解や全校一致した指導を重視し、いじめをはじめとした人権侵害を許さない温かな仲間づくりの推進 (保護者アンケート「③友達と仲良くしたり、思いやりをもって人と接したりすることを大切に指導している」肯定的評価95%以上)	日々の児童理解に努め、教職員人権研修や人権学習授業研究会を通じて教職員の人権意識を高めていくことで、児童の人権意識を高めていくことにつなぐことができつつある。 【保護者】③98%	B いじめは、誰にでも起こりうるという認識のもと、いじめを未然に防ぐ取組の一環として、周囲の友だちのよさを見つめる力を育てていく取組をさらに充実していく必要がある。	本校で取り組んでいる人権デー及び「ハートフラワー」の取組を進め、学校全体で「人は自分と同様に大切な存在である」ことが実感できる場を創造していく。
3 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりと授業力の向上 (児童アンケート「④授業の中で、自分で考え、友達と考えを深めるのが楽しい」と答える児童90%以上、教職員アンケート「⑥ICT機器を効果的に活用し、主体的・対話的な学びを深めるための様々な工夫を行っている」肯定的評価95%以上、「⑥児童の対話的な学びが深まる授業のコーディネート力を高めることができた」肯定的評価80%以上)	「学び合い週間(教職員相互の授業研究)」の設定など、教職員が授業改善に向け積極的に研究を進めることができた。 また、授業改善の軸に「対話」を置き、児童相互の考えをつなぐ工夫を協議してきた。 【児童】④90% 【教職員】⑥88%⑥100%	B 「児童が自分自身の考えをもち交流することで更に考えが深まっていく」という学びの楽しさを実感するまでに研究等が進んでおらず、今後、協働的な学びの楽しさを追求していく必要がある。	授業が主体的・対話的な学びとなるよう教員のコーディネート力を向上させるために「課題提示」「発問」「授業構成」「ICT機器の有効活用」を、より具体的な授業改善の視点として位置づけ授業研究を推進する。
4 学校・家庭・地域がともに児童の道徳性を育成する「地域道徳」の推進と、地域を深く学ぶ学習の充実 (児童・保護者アンケート「⑦家や近所、学校で進んで挨拶をしている」肯定的評価85%以上、保護者アンケート「⑧地域・家庭と協働した教育活動の推進」肯定的評価90%以上)	「コミスクわいわい会議(熟議)」を通じて地域の方や保護者、教員が「育てたいその二つ」の実現に向け、児童の実態に応じた親子道徳の取組を進め、地域総がかりの教育を行うための契機とすることができた。 【児童】⑦87%【保護者】⑧83%⑧96%	B 本校の強みである地域の学校教育への協力的な風土を生かし、地域の方々との親子道徳への参加を得て、「考え、議論する道徳」の実践に向けた協議を更に深めていく必要がある。	コミュニティ・スクールの強みを生かしつつ、地域総がかりの教育を進める取り組みとして更に充実を期すとともに、「考え、議論する道徳」の体験的な道徳学習を生かした取組とする。
5 GIGAスクール構想を推進し、タブレット等ICTを有効活用し、児童の学習を主体的対話的深い学びとする。(児童アンケート「⑨タブレット等を使った授業はよく分かる」肯定的評価90%以上)	ICT機器を児童の考えを広げ、深めるために有効活用し、対話的な学びの充実を図るために工夫しながら取り組むことができた。 【児童】⑨95%	B 学力向上に向け、AIドリル「すらら」を積極的に活用するとともに、ICT機器とノートの使い方の兼ね合いについて効果的な取組を研究していく必要がある。	学力分析を進め、課題となる領域等に対し、課題解決のためにICT機器やAIドリルの効果的な活用法をテーマの一つとして授業改善等を進める。

令和6年 3・4月の行事予定

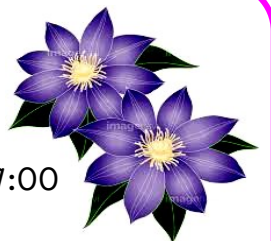
3月

1日(金)	*PTA家庭教育委員会 19:00 *PTA会計引継会 18:30 *PTA本部役員引継会議 19:30
4日(月)	児童委員会
5日(火)	1・6年朝の読み語り
6日(水)	計算大会
7日(木)	短縮校時開始 漢字大会
12日(火)	2・4年朝の読み語り
13日(水)	3・5年朝の読み語り
14日(木)	地域児童会
15日(金)	卒業証書授与式 予行 「ありがとうの花」贈呈式
18日(月)	給食最終日
19日(火)	5年以外 短縮3校時授業(11:15下校) 5年 短縮4校時授業(12:00下校) ※卒業式準備のため
21日(木)	令和5年度卒業証書授与式(12:00下校)
22日(金)	令和5年度修了式・進級式(12:00下校)



4月

3日(水)	令和5年度離任式
5日(金)	*PTA本部役員会 19:00
8日(月)	令和6年度着任式 第1学期始業式
9日(火)	令和6年度入学式
10日(水)	短縮4校時授業 ※11日(木)まで 地域児童会
11日(木)	*PTA学年委員選挙開票(4・5・6年) 19:00
12日(金)	*PTA学年委員選挙開票(1・2・3年) 19:00
15日(月)	通常校時・給食開始
18日(木)	児童委員会
19日(金)	6年全国学力・学習状況調査(国・算) 6年修学旅行保護者説明会 16:00
22日(月)	*PTA学年・専門合同委員会 19:00
26日(金)	短縮4校時授業・家庭訪問 ※25日(木)まで *PTA運営委員会 19:00



現時点における計画ですので、今後日程を変更する場合があります。ご了承ください。